

質 問 回 答 書

入札番号：総病新第7号

工 事 名：平成29年度静岡県立総合病院 第Ⅰ期リニューアル建築工事

No.	質問事項		質問内容	回 答
1	共通	設計書	設計書は契約図書であり、設計書数量は参考数量ではないと考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
2	共通	用 地 関 係	(A-009 図) 建物リース料月額約 67 万円 (16 ヶ月) 及び月額約 100 万円 (21 ヶ月) は先端医学棟工事で使用中の現場事務所と仮設トイレ及び付属の仮設電気設備、給排水衛生設備、冷暖房設備を含むと考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。 但し、掲載金額は税抜金額である。
3	共通	作 業 条 件	病院の診療時間外、又は制限付きとして既存の業務用 EV の使用は可能でしょうか。	不可である。
4	共通	現 場 事 務所	(現場説明書 P4) 来客用駐車スペース 6 台分は無償と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。 但し、本スペースは発注側の来客用として確保しているものである。
5	共通	現 場 事 務所	(A-003 図) 特記 仮設工事 監督員事務所に記載の備品等について、既存備品の継続使用は可能でしょうか。 可能な場合、リース料をご指示ください。	パソコン、複合機、大型プリンター、自動販売機、ウォータークーラー製氷機以外を継続使用できるものとして想定しているが、先端医学棟の工事受注者が借主であるため、受注側で協議のこと。従って、リース料は不明。
6	共通	工 事 動 線	(A-233 図) 本館 2 階 B エリア医事課整備工事の工事動線として利用出来る院内の階段及び廊下がございましたら、ご指示をお願いします。	院内の階段及び廊下は使用せず、南側ステージを利用し、2 階南側窓からとする。

No.	質問事項		質問内容	回 答
7	仮設	共 通 仮 設 工事	(A-228, 254, 設計書 267) 揚重機の設置期間について、設計書・図面にジブクレーン A 25 ヶ月、ジブクレーン B 25 ヶ月、ジブクレーン C 21 ヶ月と記載されています。下記についてご指示ください。 1. 計画工程表には、仮設 ELV, クレーン設置準備が H29. 8～9 月と示されておりますが、設置時期については工程計画による考え方で宜しいでしょうか。 2. 設置期間後は、I 期工事として全て撤去を行うと考えて宜しいでしょうか。 3. 1F 入退院センターの耐震補強鉄骨等主材料搬入ルートは東側玄関脇から確保できると考えて宜しいでしょうか。 (ジブクレーンは使用しない)	1. 仮設計画図のとおり。 2. 貴見のとおり。 3. 光庭 A からの搬入とすること。
8	仮設	共 通 仮 設 工事	(A-228 図) 揚重機の設置期間について、ロングスパン ELV 「A」 9.5 ヶ月、ロングスパン ELV 「B」 23 ヶ月と記載されています。下記についてご指示ください。 1. ロングスパン ELV 「A」, 「B」 共、設置期間後は I 期工事として撤去を行うと考えて宜しいでしょうか。 2. ロングスパン ELV 「B」 は、3F 産婦人科解体開始予定 H29. 11 月より 2F 化学療法室仕上 H32. 4 月迄を計画すると、設置期間は約 30 ヶ月が予想されます。設置期間が 7 か月不足しますが、その間は南側のステージ、ラフタークレーン使用の考え方ででしょうか。 3. 敷地内南側道路からの荷揚げ計画の記載があります。現況でこの道路は病院関係者の駐車スペースとなっておりますが、工事期間中は工事用として制限なく使用可能と考えてよろしいでしょうか。 (例えば、工事期間中、現況の駐車スペースの車両は別の場所へ移動していただく事は可能でしょうか。) 4. 仮設ロングスパンエレベータ 「B」 の使用に	1. 貴見のとおり。 2. 設置期間は実質、工事を行う期間を示している。 3. 駐車スペースの車両は別の場所へ移動するが、駐輪場は使用するので歩行者及び自転車の往来がある。 4. 無い。

No.	質問事項		質問内容	回 答
			関する時間制限は無いと考えて宜しいでしょうか。	
9	仮設	共 通 仮 設	(A-009 図) 施工条件特記仕様書 11. その他に「作業場の陰圧を維持できる空調システムを用いること」とありますが、この設備は設計書内訳にありません。既存の別途空調設備で対応できるものと考えて宜しいでしょうか。	改修範囲全て、仮設空調設備（換気）を共通仮設費（率分）において見込むこと。
10	仮設	共 通 仮 設	(A-253 図) 1. 屋上設置 C クレーン用基礎は、屋上押えコンクリートを撤去し、防水層を貫通しない様に、基礎のスラブへのアンカー固定は無いものと図示されていますが宜しいでしょうか。 2. またその場合、防水層を傷つけない為に、シダー CON を撤去しない計画(シダー CON の上に基礎設置)ではいかがでしょうか。	1. 貴見のとおり。 2. 不可である。
11	仮設	工 事 用 電力	(A-003 図) 特記 仮設工事 工事用電力において構内既存施設を利用できるとありますが、屋上をふくめて各階の分電盤から電灯(200KVA)・動力(200KVA)共に有償借用できると考えて宜しいでしょうか。 その際、仮設用電力メーターを設置する考え方で宜しいでしょうか。	既存施設から工事用電力を得る場合には、既存施設に影響を与えないように漏電対策等の対応をとらなければならない。 【電灯回路】 各階のエリア分電盤、分岐盤より供給を行う。仮設電源は電力メーターを付け、かつ漏電対策を行うこと。 【動力回路】 200V 動力については、先端医学棟の 6 階受変電設備と本館 6 階の動力盤にブレーカーを増設すれば利用可能。先端医学棟から本館及び北館へはメッセージャーワイヤーによる施工を行うこと。仮設電源は電力メーターを取り付けて漏電対策を行うこと。
12	仮設	工 事 用 電力	(A-003 図) 仮に動力用電力設備は既存施設有償借用不可とした場合、動力電源に要する仮設キュービクルの設置場所は本館屋上と考えて宜しいでしょうか。	動力電源については既存施設を使用しない場合は、受注者負担により、仮設キュービクルを先端医学棟南側地上(仮囲いで囲まれたエリア)への設置は可能である。
13	仮設	工 事 用 電力	(A-003 図) 病院の電気設備から工事用電力として利用可能な電気容量と引き出し可能な電源設備の位置をご指示下さい。	

No.	質問事項		質問内容	回 答
				【高圧 6,600V 系】 本館地下受変電設備の予備 VCB から供給することが出来る。但し、実負荷は 100 k VA 程度とすること。また、仮設キュービクルには電力メーターを取付け、かつ漏電対策を行うこと。
14	仮設	直接仮設	(A-230～242 図) 光庭内他の足場、ステージは、I 期工事完了時に解体搬出と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
15	仮設	直接仮設 (枠組足場)	(設計書 P258、A-231) A-231 の足場 A2 (期間 4 カ月) は設計書 P258 別紙 00-0120 の足場 A1 と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
16	外部	外壁高圧洗淨足場	(設計書 P260) 別紙 00-0125 に外壁高圧洗淨足場の記載がありますが、高圧洗淨の工事範囲をご指示下さい。	A-086 図 光庭 A の範囲とする。
17	内部	手洗いカウンター	(A-174、設計書 P155、設計書 P180) B-1 手洗いカウンターのサイズが、図面と設計書で相違します。図面を正と考えて宜しいでしょうか。 3F 仮眠前室 W2300 (図面), W1600 (設計書)、 3F 女子職員 WCW2600 (図面), W3000 (設計書)	貴見のとおり。
18	内部	既製 SUS 製流し台	(A-174, 設計書 P94) B-3 既製 SUS 製流し台が、図面と設計書で相違します。 図面を正と考えて宜しいでしょうか。 2F 汚物処理室 L1500 設計書有り、図面無し	設計書を正とする。
19	内部	トイレブース	(A-176、設計書 P41, 42) C-17 トイレブースが、図面と設計書で相違します。 図面を正と考えて宜しいでしょうか。 詳細図 H=天井高 1F エントランス WC H=2000	図面に記載の扉の高さ寸法はそのままとし、設計書を正とする。
20	内部	天井開	(A-177、設計書 P130)	図面を正とする。

No.	質問事項		質問内容	回 答
		口 補強リスト	C-24 天井開口補強リストが、図面と設計書で区分が相違します設計書を正と考えて宜しいでしょうか。 図面 「3 階 3D」 2 階 1200x150-25 ケ～1200x250-12 ケ 設計書 3 階産婦人科 1200x150-25 ケ～1200x250-12 ケ	設計書の 3 階産婦人科を「3 階 3 D」2 階に読み替えること。
21	内部	天 井 点 検口	(A-177、設計書 P123、設計書 P130) C-23 天井点検口の数量が、図面と設計書で相違します。 図面を正と考えて宜しいでしょうか。 3F 産婦人科 屋内 450X450 430 ケ所(図面) 3F 産婦人科 屋内 450x450 366+30(下階)396 ケ所(設計書)	設計書を正とする。
22	内部	天 井 点 検口	(A-177、設計書 P201) C-23 天井点検口の数量が、図面と設計書で相違します。 図面を正と考えて宜しいでしょうか。 7F 耐震補強 450x450 ×表示(図面)、 7F 耐震補強 450x450 5 ケ所(設計書 9)	設計書を正とする。
23	内部	総 合 案 内 カウンタ	(A-065, 056, A-163～) 1F エントランス総合案内カウンタの項目が設計書に有りません。 別途工事と考えて宜しいでしょうか。 (撤去・解体平面図 A-055)X19, Y3 に撤去と表示 (改修後平面詳細図 A-056)X19, Y4～5 に表示のみ	貴見のとおり。
24	内部	床 仕 上 げ	(A-017～) 仕上表で床が全面張替えの場合、巾木が一部改修と表記されていても全面張替えと考えて宜しいでしょうか。	巾木は A-055～A-080 図の壁の改修範囲による。
25	内部	2F 医事 課 改修	(A-062 図) 2F 医事課改修で天井 NAD は、平面詳細図通りパーテーション撤去部の補修部のみで全面は不要と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。

No.	質問事項		質問内容	回 答
26	内部	仕上	(設計書 58, 72, 206、A-013 図) 設計書(P58, 72, 206)において、耐震ブレース鉄骨面あるいは鉄部の「FUB 塗り 2 回塗」の項目があります。記号凡例によれば FUB はフッ素樹脂粉末焼付塗装です。これは FU「フッ素樹脂塗装」と読み替えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
27	内部	建具	(A-140 図) 建具表の一覧にある AW-51C の姿図がありません。AW-51A の姿図を AW-51C に読み替えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
28	内部	建具	(A-140 図) 建具表の一覧にある SD-51B の姿図がありません。SD-51A の姿図を SD-51B に読み替えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
29	内部	建具	(A-146 図) 建具表の一覧にある LHD-4C の姿図がありません。LHD-4A の姿図を LHD-4C に読み替えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
30	内部	建具	(A-146 図) 建具表の一覧にある LHD-5C がキープランにありません。無しとして宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
31	内部	建具	(A-145 図) SW2A, B, C, D のブラインド内蔵サッシについて、参考メーカー、品名をご教示ください。	参考メーカー：小松ウォール工業(株) 参考品名：マティ 80(ブラインド内蔵：BL-PG (GV) ダイヤライト)
32	内部	サイン工事	(A-222～227 設計書 P230) 共用部改修サインキープラン-02 の北館待合ホールで、サイン符号に×印があり取付場所には○印のある K-04b, K-05a は改修必要と考えて宜しいでしょうか。	サイン符号に×印があるものは改修不要である。
33	内部	サイン工事	(A-222～227 設計書 P230) 共用部改修サイン改修が図面と設計書で相違します。 又、前項の質疑を含めて数量はキープランを正とし下記のように考えて宜しいでしょうか。	設計書を正とする。

No.	質問事項		質問内容	回 答
			K-02 リスト-16 ヶ所 キープラン-14 ヶ所 設計書- 8 ヶ所 K-03 リスト- 5 ヶ所 キープラン- 5 ヶ所 設計書- 0 ヶ所 K-04a リスト-18 ヶ所 キープラン-19 ヶ所 設計書- 3 ヶ所 K-04b リスト-62 ヶ所 キープラン-63 ヶ所 設計書-11 ヶ所 x2 K-04c リスト- 3 ヶ所 キープラン- 3 ヶ所 設計書- 1 ヶ所 x3 K-05a リスト- 6 ヶ所 キープラン- 6 ヶ所 設計書- 0 ヶ所 K-05b リスト- 2 ヶ所 キープラン- 2 ヶ所 設計書- 0 ヶ所 K-05c リスト-15 ヶ所 キープラン-15 ヶ所 設計書- 2 ヶ所 x2 K-05d リスト- 8 ヶ所 キープラン- 8 ヶ所 設計書- 0 ヶ所 K-06 リスト-10 ヶ所 キープラン- 3 ヶ所 設計書- 0 ヶ所 K-07I 型 リスト-1 ヶ所 キープラン-1 ヶ所 設計書-0 ヶ所 K-07L 型 リスト-2 ヶ所 キープラン-2 ヶ所 設計書-0 ヶ所 K-09 リスト- 3 ヶ所 キープラン- 3 ヶ所 設計書- 0 ヶ所	
34	とりこわし	シーリング	(A-003 図) 特記 1. 一般共通事項の撤去するシーリング材の調査について設計書内訳に該当項目がありません。一次・二次判定の検査サンプルの採取箇所数をご指示ください。	光庭A～D各々1箇所とする。
35	とりこわし	アスベスト	(A-007 図) 特記 9. 環境配慮改修工事 アスベスト含有建材の処理工事に記載の「アスベスト含有建材の調査」、「アスベスト粉塵濃度測定」は設計書に該当項目がありません。測定場所について特記にエリアの記載がありますが、各エリア1室として計9室程度と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
36	とりこわし	工作物	現況 1F 光庭内のエアコン屋外機, プランター等は外部足場に干渉すると思われます。	光庭Aはプランター(樹木含む)の撤去を見込んでいる。但し、復旧は不

No.	質問事項		質問内容	回 答
			さらにステージ足場設置後は、屋外機能力に影響が懸念されます。これらの移設・復旧費用は別途協議で宜しいでしょうか。	要。光庭B、Dは受注者と協議する。 光庭のエアコン屋外機の移設、復旧は別途発注の機械設備工事において見込んでいる。
37	構造	鉄骨の制作工場について	(A-008 図) 鉄骨制作工場について、Hグレード指定とありますが、対応できる鉄骨業者が少ないため、Mグレードの鉄骨制作工場でも宜しいでしょうか。	設計図面の通り、Hグレード指定である。
38	構造	構造	(A-008 図) 特記 耐震改修工事(鉄骨工事)において、鉄骨製作工場はHグレードとされておりますが、使用鋼材は490N、板厚40mm以下であるため、Mグレード以上にて協議願えますでしょうか。	
39	構造	EXP. J	(S-067 図) EXP. J 連結詳細図において、詳細計画が示されております。無収縮モルタル充填部には、既存緩衝材としてスタイフォーム等が設置されている事が懸念されますが、その場合は別途協議願います。	クリアランスにはロックワール(アスベストなし)が充填されているものとし、撤去後に無収縮モルタルを充填することとして見込むこと。
40	構造	EXP. J	(S-067 図) EXP. J 連結補強の既存躯体貫通孔穴明けに際し、既存鉄筋、配管探査のためのレントゲン撮影を見込んで宜しいでしょうか。 また、貫通孔補強は必要ないと考えて宜しいでしょうか。	鉄筋探査に係る費用を適切に見込むこと。貫通補強は不要。
41	構造	EXP. J	(S-014, 026, 067 図) EXP. J 連結補強部について、連結対象の梁はR階床伏図よりB3梁でRC梁ですが、EXP. J 連結補強詳細図のc-c断面でSRC梁となっています。連結する梁はすべてB3(RC梁)と考えて宜しいでしょうか。	X11-12間のEV棟側の小梁符号はB3AでSRC梁となっている。別紙修正図①②に修正した伏図とリストを示す。
42	構造	渡り廊下	(S-079 図) 渡り廊下棟の既存躯体への孔あけ径が大きく、既存鉄筋を切断する可能性が高いです。可能な限り小径コアとして宜しいでしょうか。	アンカーボルトの定着板の径と充填剤に支障がない径まで小さくして支障がない。なお、充填剤は無収縮モルタルではなく流動性の高いポリマーセメントモルタルとすること。

No.	質問事項		質問内容	回 答
43	構造	スリーブ	(A-010 図) 工事区分表(1) 5. 開口部スリーブ等 (6) 構造体開口補強 について、建築工事に ○がついていますが、該当箇所が不明で す。今回は該当無として宜しいでしょう か。	貴見のとおり。